

第19回 I B I Cスペシャルセミナー

『私がベネッセを辞めたワケ～でも、とても大変です……。とほほ……。』

講師 株式会社からだにいいこと 取締役・営業部長 森本 滋久 氏

【日 時】平成21年9月18日(金) 18:30～

【主 催】今治地域地場産業振興センター

「愛媛県地域力連帯拠点」今治商工会議所経営支援センター

【参加費】無料

【開催地】じばさんセンター 4階 第1研修センター

【参加者】32名

今回のゲストは、セルフメディケーション（自分の身体は自分で守る）をモットーに女性向け健康コンテンツの雑誌「からだにいいこと」を出版されている(株)からだにいいこと森本滋久さんをお迎えしました。

学生の頃に母親を亡くし、“これ以上母親のような女性を増やしたくない”という思いから健康コンテンツの雑誌を作るようになった森本さん。また、ベネッセでの社内異動をきっかけに、もともと興味があった「セルフメディケーション概念の国民への普及と定着」に、今後の身を捧げる決意をしたのも今の会社を始めたきっかけのひとつ。「ベネッセを辞めてから毎日苦勞の連続です。」と、これまでの苦勞話も。この他にもプライベートでの写真や社員の方の写真を紹介。参加者の方からはプライベートに踏み込んだお話が聞けたのでよかった!!という声もありました。この講演で自分の身体は自分が守るという意識が強まったのではないかと思います。



Profile/森本 滋久 (もりもと・しげひさ)

- ・兵庫県出身。
- ・関西学院大学社会学部で社会福祉を学び、(株)ベネッセコーポレーションに入社。
- ・在職中は主に、出版部門にて雑誌ブランドを活用したマーケティング手法において、数々の実績を築く。
- ・健康事業開発チームへの社内異動をきっかけに、学生時代より興味があった「セルフメディケーション概念の、国民への普及と定着」に、今後の身を捧げることを決め退社。
- ・2004年5月、「株式会社からだにいいこと」を起業。基幹商品である月刊雑誌「からだにいいこと」を通して、「アンチエイジング」の実践に対する、衣・食・住からのライフスタイル提案を毎月、一般書店のチャネルから情報発信中。
- ・創刊5年目の今、そのわかりやすい雑誌タイトルが奏功し、百貨店からドラッグストアまで、流通現場でのタイアッププロモーション企画が進行中。
- ・また、テレビ業界においても「健康コンテンツのネタ本」として定着し、特に主婦向けバラエティ番組での取り上げ多数。
- ・からだにいい暮らしは気持ちいい暮らし! ⇒ <http://www.karakoto.com/index.html>

